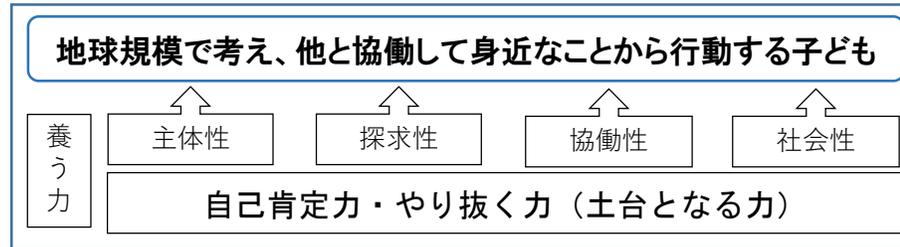


「スクールESDくさつ推進事業」では、様々な地域課題を体験的な学びを通して、その解決に子どもたちが主体的にかかわり、**地域社会の一員としての意識と行動力を身に付けることをめざ**しています。

めざす子どもの姿と つきたい力



【市内の小中学校における総合的な学習の時間の現状】

平成10年から続けてきた「地域協働合校推進事業」により、学校と地域との連携が進み、地域に根差した学習が充実し、郷土への愛着や誇りを深めています。

①地域の様々なフィールドで体験を通して学んでいます。



②地域の多様な人々との連携・協働が進んでいます。

まちづくり協議会、各種団体、福祉関係・団体、支援ボランティア、社会教育関係団体、PTA、大学、企業、地域コーディネーター等との連携しています。

③各校で地域に根差した学習テーマに取り組んでいます。



④教科の学びとのつながりを大切にしています。

各校で「ESDカレンダー」（年間カリキュラム表）を作成し、1年間の総合的な学習の時間の学びが他の教科での学びと、どのように関連しているかを教師が意識できるようにしています。

実現のための方策

ESDの視点に立った総合的な学習の時間の充実を図る。

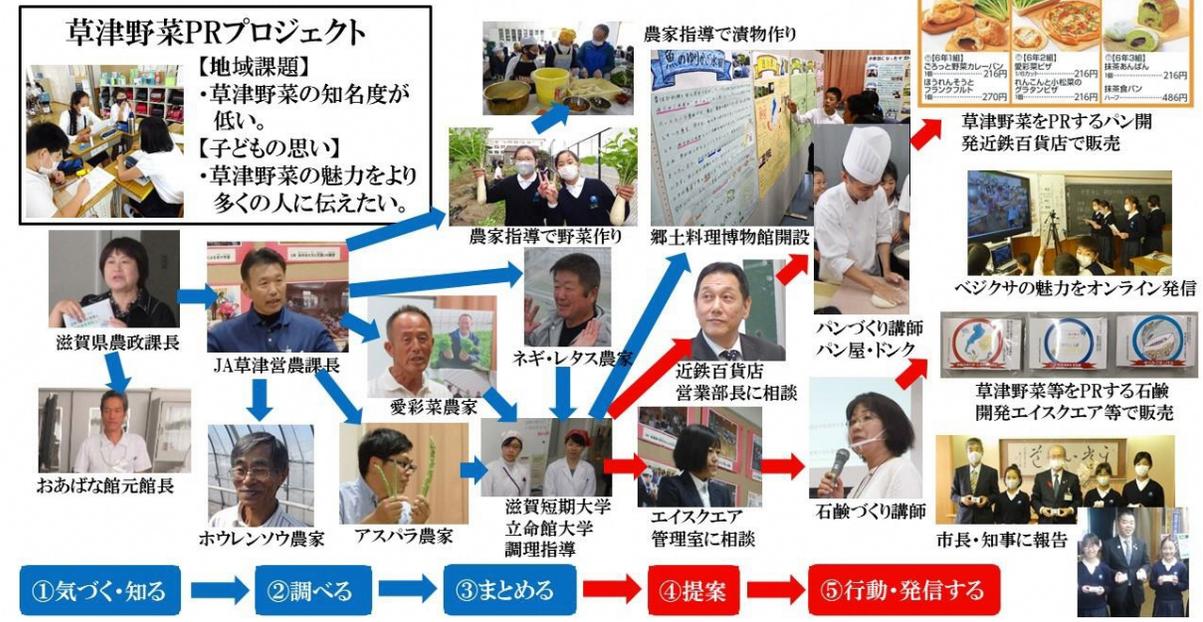
改善ポイント

地域課題解決型の学習を取り入れる
行動・発信する活動を重視する

⇒学びのサイクル（①気づく・知る②調べる③まとめる④提案する⑤行動・発信する）を導入します。特に④、⑤の過程を重視し、地域の人に情報を発信したり、地域の人々とともに、地域課題解決に向けて行動することを大切にします。

⇒地域の人とかかわり、人の役に立つ経験を通して、ふるさとへの愛着や誇りをより一層深めるとともに、コミュニケーション力や自己有用感・自己肯定感を養います。

【事例】子どもたちが草津野菜をPRするため、博物館を開いたり野菜を活用したパンや石鹸を考案したりしました。



地域への好影響・・・地域のよさを見直すきっかけとなります。
地域で子どもが育つまちづくりを推進ことにつながります。

◎年間スケジュール

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	●全校のESDカレンダーの作成状況確認		●モデル校を中心に、定期的に学校訪問し、ESD実践に対する指導助言を行ったり、地域との協働に関する相談に乗ったりする							●各校の実践を取りまとめる		●報告書、DVD作成
モデル校（3校）	●年間の計画を立てる ●スクールESD宣言	●校内研究で内容等を検討 ●学校運営協議会で議論					●学校運営協議会で議論			●年間実践のまとめをする		●カレンダーの見直し・点検
モデル校以外（17校）	●年間の計画を立てる	●各学年で実践を進める								●年間実践のまとめをする		●カレンダーの見直し・点検

夏季研修会（8月）
実践報告会（12月）
子ども環境会議で取組紹介（3月）